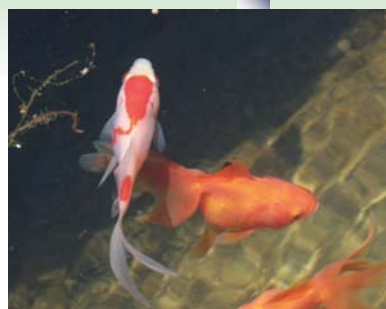


発行日:平成19年8月5日

発行所:法雲寺



東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2365

TEL:0796-98-1151・1161 FAX:0796-98-1168

法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール:kouryu@houun.net

お盆月になりました。

お盆が近づくに連れ、気になるのがお墓の掃除。法雲寺でもお寺の裏の墓地に始まり一ニ(ホイ)峠・坪谷・御殿山に観音山・・・歴代藩主・住職のお墓に加え、村岡を離れられた各家のお墓、お盆が終わるその日まで掃除に追われる毎日です。気を利かせたつもりで早め早めに取り掛かれれば、お盆までに草が伸びて、また一からやり直し。かといって、お盆直前に一気に片付けてしまうには人を何十人も雇わぬ限りは無理な話です。まあ今のところ少人数でコツコツと一件ずつ地道に片付けていくのみです。

お墓は言うまでも無く丁寧に扱うべきものではありますが・・・テレビで活躍の占いの先生は「正しいお墓参りの方法」について、「お墓に水を掛けるなんて、ご先祖に冷や水をぶっ掛けるようなもの」とか、「墓石は故人を偲ぶようにタオルで優しく拭く」とか言われているらしいのです。

幾らお墓は大切なものと言われても、「お墓、即ちご先祖そのもの」と言う考えは、どこか違うような気がします。

どうも我々はお墓の下に遺骨が納めてあれば、その上の印(しるし)に過ぎない墓石までも魂が宿っているように思いがちです。だから、占いの先生の珍説にも思わず納得してしまうのでしょう。

しかし、お墓に魂が宿っていると考えるならば、ご先祖様は未だに成仏されずこの世に留まっていることとなります。これはこれで少し困ったことでしょうか？

私はお墓と言うものは、あの世(浄土)に旅

立たれたご先祖様の扱代(ヨリシロ)であり、ご先祖と心を通わせる為の通信機のようなものだと思います。

例えば、村々に神社があり、そこに天空からの神をお迎えしお祭りを行ったり、神社に参って神様に祈願をしたりするのと同じく、お墓は各家各家のご先祖をお招きしたり、相談事を投げかける場所で、各家専用の扱代であり、一種の通信機では無いでしょうか。

また、ご先祖側の立場で考えれば、我々が故郷に里帰りしたとしても、実家ではなくホテルや旅館を利用したとすれば、故郷に帰ったと言う実感も余り沸きにくく、どことなく落ち着きません。ご先祖にしても同じことでしょう。お盆に里帰りしたご先祖は実家であるお墓に戻られ、そこで皆さんがお墓参りでお迎えに来られるのを首を長くしてお待ちです。



扱代であり、ご先祖様の実家でもあるお墓ですから、帰ってこられるご先祖様のために、水で清めてあげることは何らご先祖様に無礼を働いている訳でもありませんし、ご先祖様に気持ちよく過ごして頂くためには、ある程度は掃除も必要でしょう。ただ、大切に大切に思う余りに、前述の占いの先生のように「墓石が生身のご先祖そのもの・・・」のような考え方には違和感を感じます。

無心になって行うお墓掃除はご先祖様と心通わせる年に数回しかないチャンスです。もし機会がありましたら、相談事を心の中に準備し、作務をしながら問いかけて見るのも良いかもしれません。きっと良い答えが得ることが出来ると思います。

棚経日程のご案内

本年度も下記の順番で回らせて頂きます

期日	午前	午後	期日	午前	午後
8月7日	大阪 和歌山		8月11日	野々上	川上
8月8日	板仕野宿		8月12日	新町中西	西本町中西
8月9日	用野鹿田		8月13日	東上 東中・本町	
8月10日	大屋八鹿豊岡	香住川会小代	8月14日	本町・殿町	

- 交通の渋滞・相談事等で多少時間がずれる場合も有りますが、ご理解をお願いします

お盆供養幡

本年度も「お盆供養幡」をご用意しました。お仏壇の上に竿を渡して、テープや糸で止めるなどしてお仏前を飾り、お盆をお迎え下さい。



テープで止めても結構です

お盆が過ぎましたら15日の夕刻か、16日の朝に、川に流すか、燃やしてください。それをもって「仏送り」(精霊流し)「送り火」の変わりにして頂ければと、思います。

せがき

お施餓鬼のご案内

お盆恒例のお施餓鬼のご案内です。

期日:平成19年8月15日(水)午前11時～

会場:法雲寺本堂

対象:地元初盆各家・永代供養各家及び希望者

記念写真のご案内

親戚一同が一堂に会するような集いも、今や結婚式か葬式・法事の時ぐらいでしょうか？昔なら、そんな時、親戚の中に写真好きのおじさんが必ず独りは居て、出席者一同を整列させて記念写真のポーズを取らせて居た様に思います。サービスと言う訳では無いのですが、この

ご理解ご協力に感謝いたします

おかげをもちまして、この春、法嗣・廣実の比叡山高校入学が叶い、慣れない寮生活に耐えながらも、何とか1学期も終了、夏休みで帰省しております。



入学したての頃

お檀家の皆様には、「後継住職養成協力」として、檀徒会役員総会にてご讃同頂き、多くの皆様方にご協力を頂いております。

この場を借りまして深く深くお礼申し上げます。

まだまだ、即戦力(?)という訳には参りませんが、徐々にお寺の事も覚えて行かせようと考えています。



タオルを掛けた姿も勇ましく?

お盆の棚経に同行させる事も有るかと思いますが、どうか、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

特別寄進のご報告

ご協力感謝申し上げます

春から、遠くのご親戚が参列された法事のお寺参りの後で「記念写真を撮りましょうか?」のご提案いたします。

法事・法要の記念の一つになればと考えていますので、法事等のお寺参りの際にはご一考ください。



こんな感じです